

## (5) 甲 信 越



甲信越地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しているものの、一服感がみられる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(    は上方に変更、    は下方に変更)

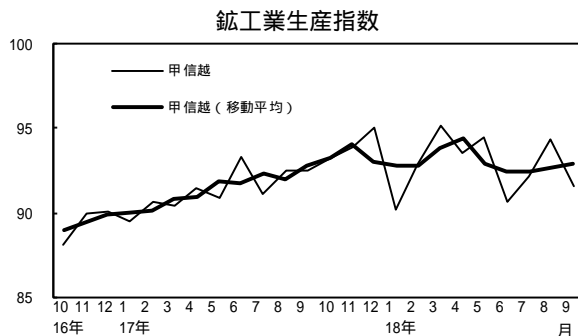
### 前回からの主要変更点

	前回(平成30年8月)	今回(平成30年11月)	
個人消費	緩やかに増加	持ち直し	
住宅建設	大幅に減少	増加	

### 1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しているものの、一服感がみられる。

7 - 9月期には、「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、増加した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、減少した。「輸送機械」は、増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値ウェイト	生産				
		4 - 6月期	7 - 9月期	7月	8月	9月
電子デバ、電気・情報通信	42.8	0.6	0.4	2.6	2.4	2.8
汎・生産・業務用機械	17.9	0.8	0.9	1.0	6.2	8.2
石油・石炭製品、化学、プラ製品	10.5	2.3	2.4	7.0	2.2	1.8
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.6	2.3	2.0	1.0	0.8	0.9
輸送機械	7.1	2.3	1.4	2.2	2.2	3.1
鉱工業	100.0	0.1	0.2	1.7	2.3	2.9

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

2. 7 - 9月期、9月は速報値。

(備考) 1. 2010年=100、季節調整値、甲信越の最新月は速報値。

2. 甲信越の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

3. 甲信越は内閣府にて算出。

(2) 日銀短観における新潟支店管内の業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ拡大している。

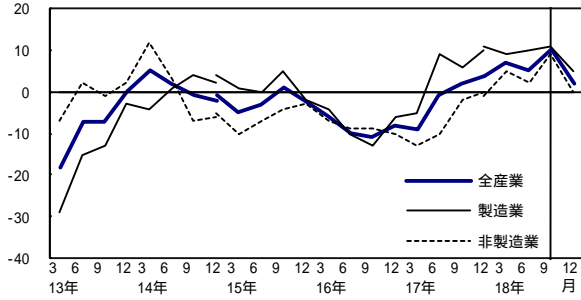
甲府支店管内の業況判断は「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

松本支店管内の業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ拡大している。

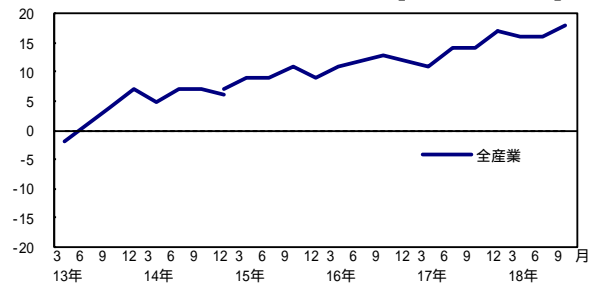
(5) 甲信越

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

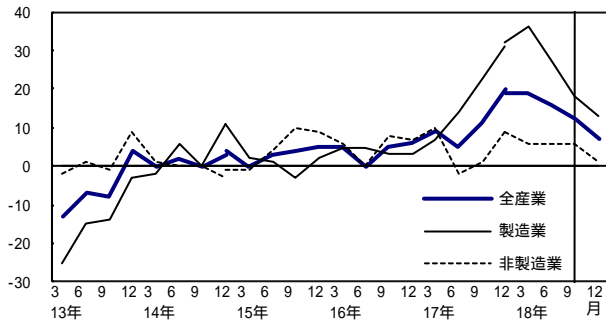
(%ポイント) 新潟支店 企業短期経済観測 [業況判断]



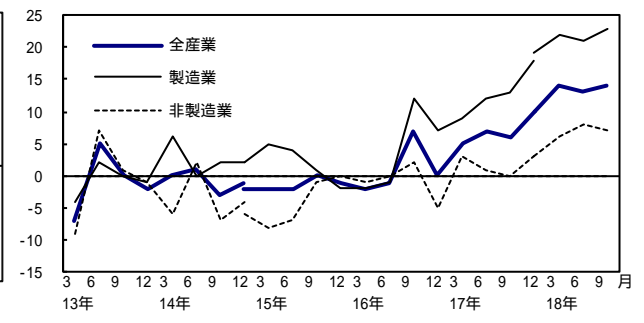
(%ポイント) 新潟支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



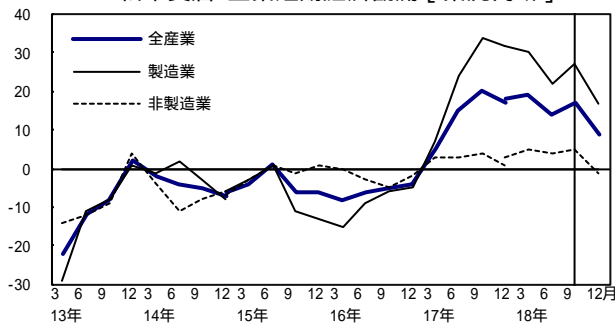
(%ポイント) 甲府支店 企業短期経済観測 [業況判断]



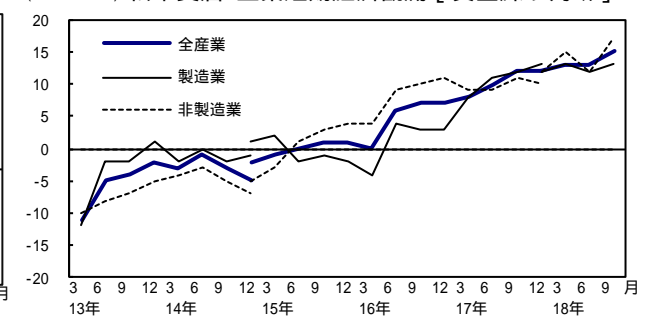
(%ポイント) 甲府支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(%ポイント) 松本支店 企業短期経済観測 [業況判断]



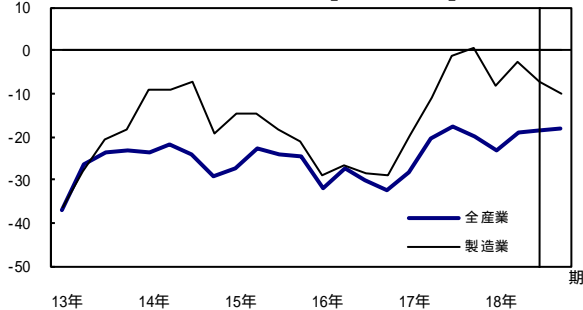
(%ポイント) 松本支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。2018年12月は予測。  
2014年12月及び2017年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。  
2014年12月及び2017年12月は新・旧基準を併記。

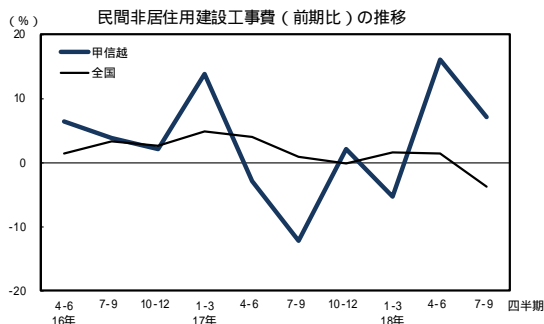
(%) 中小企業景況調査 [業況判断]



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。2018年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[企業動向関連(現状)]  
 「富士山周辺の観光地では、観光客が堅調に推移しているものの、増加傾向なのは個人客で、宿泊料金の増加にはつながっていない(金融業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は大幅に増加している。



(備考) 1. 季節調整値。

2. 2018年4-6月期以降は国土交通省「建設統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

企業短期経済観測調査[設備投資(9月調査)]  
(前年度比、%)

	2017年度実績	2018年度概
全産業		
新潟支店	2.0	16.5 ( 0.8)
甲府支店	14.7	15.8 ( 16.2)
松本支店	8.8	11.7 ( 2.7)
製造業		
新潟支店	2.6	17.2 ( 4.3)
甲府支店	41.9	19.7 ( 23.0)
松本支店	8.4	15.1 ( 3.0)
非製造業		
新潟支店	1.4	15.8 (2.7)
甲府支店	17.0	8.1 (4.0)
松本支店	10.9	3.9 ( 1.2)

(備考) ( )は前回(6月)調査比修正率。

## 2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直している。

地域別消費総合指数(RDEI(消費))

7月は前月比0.7%増、8月は同2.7%減、9月は同0.7%増となった。

百貨店・スーパー販売額

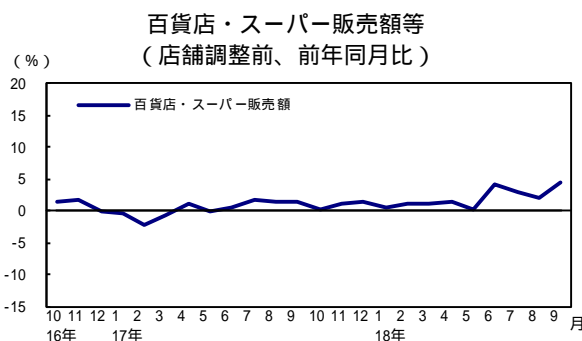
7月は、衣料品は前年を下回った一方、食料品は前年を上回り、全体でも前年を上回った。

8月は、衣料品は前年を下回った一方、食料品は前年を上回り、全体でも前年を上回った。

9月は、衣料品は前年を下回った一方、食料品は前年を上回り、全体でも前年を上回った。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[家計動向関連(現状)]

「運行回数が減っている。特に、夜は金曜、土曜以外はものすごい減り方である(タクシー運転手)」などの回答がみられた。



	2018年7-9月	2018年7月	8月	9月
RDEI(消費*1)	0.7	0.7	2.7	0.7
百貨店・スーパー(*2)	3.2	3.0	2.1	4.5
乗用車(*3)	0.3	1.8	6.1	4.9
(季節調整値)(*3)	2.0	1.1	5.8	9.1

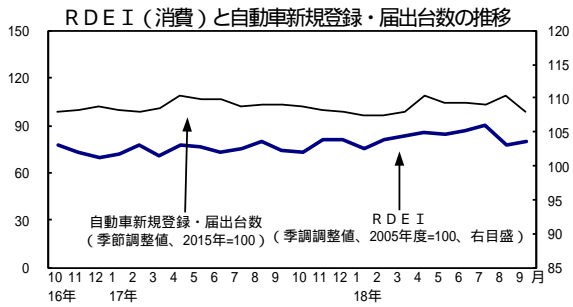
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

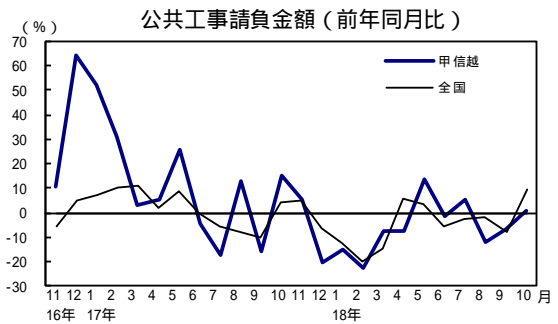
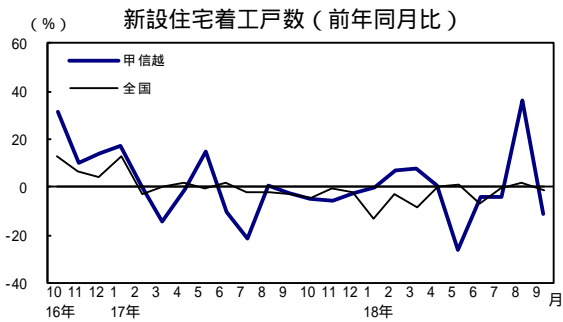
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

(5) 甲信越



(2) 住宅建設は前年に比べ増加している。  
持家、貸家、分譲いずれも前年を上回ったことから、増加している。

(3) 公共投資は2018年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。

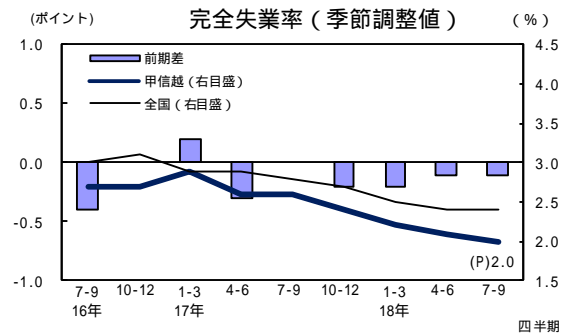
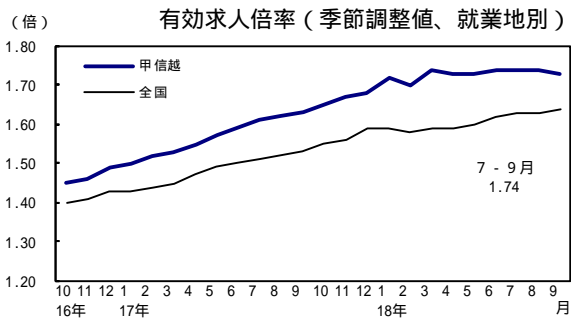


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。  
2. 7-9月期の値は暫定値。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[雇用関連(現状)]

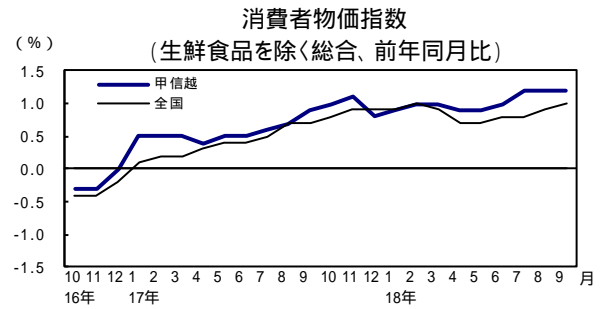
「有効求人倍率は上昇で推移している。業種により格差はあるが、依然として人手不足が深刻である(求人情報誌製作会社)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は件数は減少しているものの、負債総額は大幅に増加している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が拡大している。

#### 企業倒産

	(件、億円、%)				
	2017年 10-12月	2018年 1-3月	4-6月	7-9月	2018年10月
倒産件数 (前年比)	56 3.7	73 43.1	54 22.9	50 10.7	21 0.0
負債総額 (前年比)	106 21.2	122 20.4	71 65.4	134 112.4	75 331.6



(備考) 甲信越は内閣府にて算出。

#### 景気ウォッチャー調査 (季節調整値)

